

令和四年度の調査研究もまとめの段階に

(令和4年10月～12月)

■自主研究に関する研究班会議

(10月11日)

コロナ禍を契機とした新しい生活様式に関連して、学生生活への影響に焦点をあて情報共有しました。

■北海道農産物協会委託事業中間報告

(10月24日)

有機農産物の流通に係る中間報告を委託元に対して行いました。

■北海道農業公社委託事業に関する現地調査

(10月13日、20～21日)

新規参入支援体制に関して、赤井川村と名寄市において現地調査を行いました。

■北海道農政部委託事業に関する現地調査

(11月16日、17日、22日、12月6日、7日、8日、12日)

道内各地の農村機能維持活動について調査しました。

■自主研究課題研究班会議

(11月18日)

■北海道農政部委託事業に関する研究班会議

(10月14日)

補助事業の受益者アンケートの取進めについて委託者、協力研究員と協議しました。

■令和四年度モニター会議

(11月24日)

TKPガーデンシティにおいて、五名のモニターが出席し開催しました。

■中央会委託事業中間報告

(10月14日、19日)

モデルJAの地域農業振興計画の検証に係る中間報告を委託元に対して行いました。

■北海道農産物協会委託事業研究班会議 (11月28日)

中間報告した際の委託者の意向を受け、最終報告の構成、スケジュールについて協力研究員と情報共有しました。

■中央会委託事業中間報告 (11月29日、12月2日)

地域農業振興計画の検証に係る中間報告をモデルJAに対して行いました。

■第四回理事会 (11月30日)

上半期の事業進捗、実績の報告と令和五年度の取進めについて決定しました。

■自主研究に関する研究班会議 (12月6日)

コロナ禍を契機とした新しい生活様式に関連して、生乳生産、消費への影響について情報共有しました。

■北海道農業公社委託事業に関する中間報告 (12月9日)

新規参入支援体制に関する道内各地での事例調査結果を委託元に対して行いました。

■大韓民国農林畜産食品部来所 (12月14日)

大韓民国農林畜産食品部から六名の来訪がありました。

■北海道農産物協会委託事業研究班会議 (12月20日)

中間報告後の調査結果を踏まえて最終報告の内容について協議しました。

令和4年度農業総合研修会開催のお知らせ

研修テーマ：多面的イノベーションと農山村社会
－21世紀社会からの要請に－

講師：京都大学大学院農学研究科
教授 秋津元輝氏

開催日時：令和5年2月28日(火)
13時30分～15時00分

開催場所：北農ビル 19階 6会議室
札幌市中央区北4条西1丁目

問い合わせ：一般社団法人 北海道地域農業研究所
電話：011-757-0022
ファックス：011-757-3111
E-mail：Office47@chiikinouken.or.jp

研究会・研修会等への報告者・講師の派遣

○「中央アジア対象農民組織強化研修」

主 催 JICA北海道

と き 令和4年10月5日～

7日、19日、25日、

28日、11月1日

テーマ アクションプラン作

成指導、講習会等

コース長 坂下 明彦

(当研究所・所長)

○「北海道地区研究会」

主 催 村落社会研究学会

と き 令和4年10月21日

テーマ 石狩川流域の水田開

発と流域農業の構造

報 告 坂下 明彦

(当研究所・所長)

○「第二回ひがし北海道地域

経済・金融フォーラム」

主 催 釧路公立大学

と き 令和4年11月5日

テーマ 地域農業の維持と農

協の機能について

講 演 坂下 明彦

(当研究所・所長)

(当研究所・所長)

○「第六〇回時計台サロン」

主 催 北海道大学大学院農
学研究院

と き 令和4年12月13日

テーマ 石狩川の流域開発と

水田の今

○「令和四年度」第五三期生「
報徳講義(後期)」

と き 令和4年12月13日

講 演 坂下 明彦

(当研究所・所長)

テーマ 協同組合と報徳

講 演 石田 健一

(当研究所・常務理事)

■藤田氏(当研究所元理事長)がJA研究賞を受賞

JA全中が、JAに関する優れた著書や論文を表彰する二〇二二年度「JA研究賞」に、当研究所元理事長の藤田久雄氏が執筆した『農協系統組織再編と独立経済連の位置―県域機能は誰が担うのか―』(筑波書房)が選ばれました。

■『内地からみた北海道の農業と農協』が発刊

本書は、「地域と農業」第一一七号から第一二四号の当所開設三〇周年記念特集「次の一〇年に向けて」・特集「日本の中の北海道農業と農協」に掲載した、道外の大学や研究所に所属(当時)する八名の研究者の論文に、道内中堅研究者のコメントを補足し充実したものです。当研究所・坂下所長が編集し、筑波書房から発刊されました。